

SiC ヒーターを用いた取鍋電気加熱装置

ELEMAX

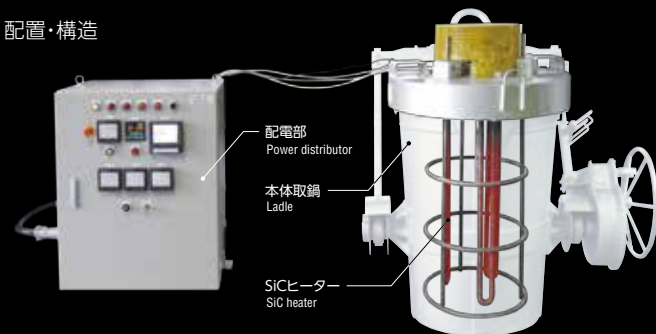
エレマックス



エネルギー効率の向上と排熱・騒音の抑制を実現しました。大手自動車メーカー様からも好評です。

エレマックスは、鑄造現場で使用される取鍋（とりべ）を低コストで電気加熱する装置です。SiC ヒーターを断熱蓋にセットした構成からなり、取鍋の上にかぶせ、密閉した状態で内部を加熱できます。その結果、これまでのガス加熱に比べエネルギー効率を大幅に向上でき、排熱や騒音の抑制、及び作業安全にも大きな効果があり、環境対策上も好評価をいただいています。

配置・構造



会社概要 (2017年9月30日現在)

社名 日本ルツボ株式会社 (登記上社名: 日本坩堝株式会社)
Name: Nippon Crucible Co., Ltd.
設立 明治39年(1906年)12月
本店所在地 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル
TEL(代表): 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191
資本金 7億452万円
証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
会計監査人 有限責任監査法人トーマツ
証券コード 5355
従業員数 連結 227名 単体 161名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株式に関する お手続きについて (住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合 (特別口座) みずほ信託銀行(TEL:0120-288-324)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告(http://www.rutsubo.com/) (ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)

経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。

Heart&Spirit

当社は、明治18年の創業以来、お客様ニーズを的確に把握し新製品の開発、新ジャンルの開拓を推し進めてまいりました。21世紀も、その姿勢は変わりません。

Ecology

当社は、どんなに優れた技術であっても地球環境にダメージをあたえてはならないと考えます。環境に対して求められるもの、必要なものを展望しながら製品・設備を提供してまいります。

Challenge

「現状維持は退化につながる」という発想のもと、常に新しい技術を開発し続け、新しい分野への進出によりお客様の満足を実現してまいります。



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

URL: <http://www.rutsubo.com/>



Heart&Spirit Ecology Challenge

NIKKAN

Report

第178期 中間報告書
2017年4月1日～2017年9月30日

日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.

証券コード 5355

当社は、グループ丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い内外需を背景として、自動車や機械生産等、幅広い業種で企業収益および景況感が改善したことで、緩やかな持ち直しの傾向が続きました。しかしながら、米国の経済政策運営や北朝鮮を巡る地政学的リスクなど海外経済の動向には不透明感があり、景気の先行きについては依然として慎重姿勢も見られます。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、新型車の販売好調等が下支えとなって、自動車国内生産台数・販売台数の前年度比増加が継続するなど、業績は堅調に推移しております。

鉄鋼産業は、国内粗鋼生産量が前年同月比でほぼ横ばいの傾向となる中、中国の粗鋼生産が過去最高を更新するなど、依然として厳しい環境が続いております。

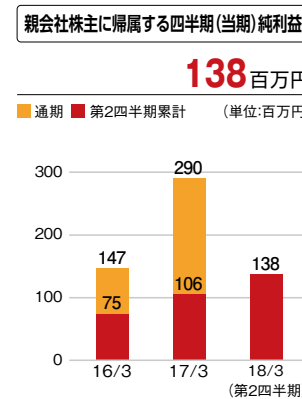
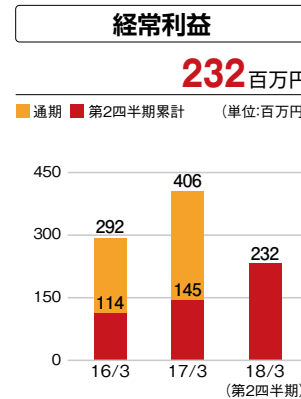
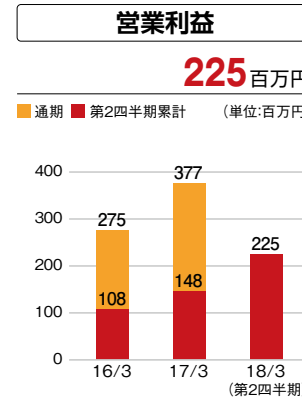
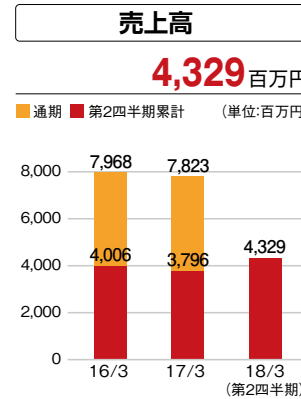
このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43億2千9百万円と前年同四半期比14.0%増加いたしました。利益面では、営業利益は2億2千5百万円（前年同四半期比+52.0%）、経常利益は2億3千2百万円（前年同四半期比+59.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千8百万円（前年同四半期比+29.6%）となりました。

当社は、グループ丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。今後とも、株主の皆様より変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

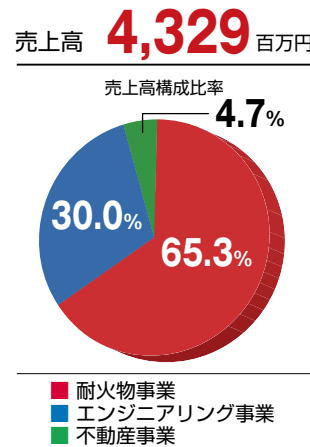
代表取締役社長

大久保正志

連結財務ハイライト



セグメント別概況(連結)



耐火物事業



売上高 2,824百万円

鑄造市場向けは、国内自動車生産台数の前年比増加が影響し、売上高が増加いたしました。鉄鋼市場向けも、高炉工事の受注が増加いたしました。その結果、耐火物事業全体の売上高は前年同四半期比2.1%増加いたしました。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間 (2017.9.30)	前連結会計年度 (2017.3.31)
資産の部		
流動資産	6,080,266	5,816,238
固定資産	4,465,740	3,955,964
(有形固定資産)	(2,591,256)	(2,476,970)
(無形固定資産)	(368,065)	(67,203)
(投資その他の資産)	(1,506,419)	(1,411,791)
資産合計	10,546,006	9,772,202
負債の部		
流動負債	3,621,035	3,392,896
固定負債	2,837,506	2,439,703
負債合計	6,458,541	5,832,599
純資産の部		
株主資本	3,852,702	3,795,820
その他の包括利益累計額	234,763	143,783
純資産合計	4,087,465	3,939,603
負債純資産合計	10,546,006	9,772,202

四半期連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (2017.4.1-2017.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2016.4.1-2016.9.30)
売上高	4,328,925	3,796,199
売上総利益	1,205,901	1,021,532
営業利益	225,376	148,310
経常利益	232,160	145,496
税金等調整前四半期純利益	211,686	138,913
四半期純利益	138,011	106,465
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,011	106,465

エンジニアリング事業



売上高 1,301百万円

金属の溶解炉を担当する「築炉事業部」と、焼却炉・熔融炉を担当する「環境事業部」の2部門が推進しております。新たに子会社化した眞保炉材工業株式会社の売上も寄与し、エンジニアリング事業全体の売上高は前年同四半期比50.9%と大きく増加いたしました。

不動産事業



売上高 204百万円

本社ビルの賃貸事業は、立地条件の良さから100%の入居率を維持しており、太陽光発電事業も、当初予想を上回る発電量を確保しております。3月に完成した大阪倉庫の売上も寄与し、不動産事業全体の売上高は前年同四半期比20.4%増加いたしました。

(注) 1. 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
2. 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。